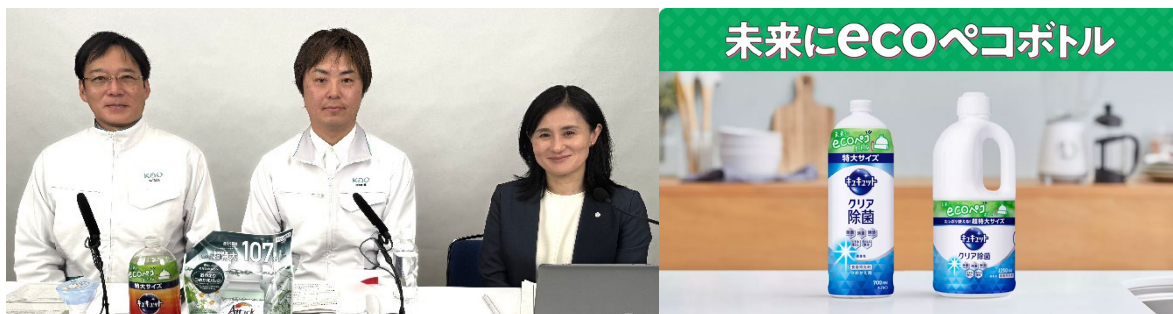


株主さま向けオンラインイベント 開催概要

株主の皆さまとの対話を目的としたオンラインイベントを開催しました。

環境にも、使う人にも、やさしい包装容器 — その想いを、かたちに。



開催概要

日付：2025年11月5日（水）

出席者：執行役員 ESG部門統括

大谷 純子

執行役員 法務部門統括

長谷川 亜希子

研究開発部門 包装技術研究所 主席研究員

辻 誠

研究開発部門 包装技術研究所 第4研究室 グループリーダー

大西 洋

説明内容：

1. 花王のESGよきモノづくり
2. 包装技術研究所より取組みのご紹介
 - ・“つかいやすさ”の取組み事例
 - ・“環境調和”の取組み事例

質疑応答の要旨

1. ノズル付きパウチは従来よりノズル・キャップ部分のプラスチック量が増えるのではないか。

らくらく eco パックはフィルムを薄肉化し、ノズルにバイオプラスチックを採用している。1 回分のつめかえパウチと比較して発生する CO2 排出量が従来のパウチより少なくなるよう計算・設計している。何回かつめかえができるパウチについても通常の 1 回分と比較して容量あたりの CO2 発生量が少なくなっている。

2. つめかえパウチの注ぎ口に液が残る。最後まで出し切る方法はあるか。

パウチを絞りながら押し出し、最後に振ると注ぎ口やノズル内の液が落ちやすくなる。

3. ワンハンドプッシュ等で部品が増えプラスチック量が増えているのでは。利便性と環境負荷のバランスはどうなっているか。

本体に部品を追加するとプラスチック量は増えるが、薄肉設計のつめかえパウチと組み合わせて本体を長く

使用いただくことで総使用プラスチック量を抑える設計にしている。

4. つめかえパック（フィルム）はプラスチック量が少ないがボトルの方がリサイクルは簡単、という認識は正しいか。

フィルム容器はプラスチック量削減に優れるが多層構造でリサイクルは難しい。一方で、ボトルは単一素材で再生しやすい。さらに再生技術を進め、循環社会に貢献していきたい。

5. こだわりのおすすめ製品を教えてください。

辻：「アタック」。長年の改良の歴史を見てきて、特に思い出がある。

大西：「ピュオーラ 泡ハミガキ」。ボトルを押すと泡で出て子供にも使いやすい商品。

6. つめかえボトルを蛇腹のように潰して捨てたい。

潰しやすさを重視した『キュキュット未来に eco ペコボトル』を開発した。フィルムを剥がすと蛇腹形状や縦線があり簡単に潰せる構造になっているため、ぜひ試していただきたい。

7. アタック ZERO のつめかえ容器は中身が見えにくく溢れやすい。上手なつめかえ方を教えてください。

ボトル横に透明なビジブルラインがある。ビジブルラインを目安に置き、注ぎながらラインの高さを確認すると溢さずにつめかえができる。

以上